

様式第8（第11条関係）

令和5年度島根県電源立地地域対策交付金事業評価報告書

地 域 第 1 9 7 号

令 和 5 年 1 2 月 2 1 日

島根県知事 丸 山 達 也 殿

住所 雲南市木次町里方521-1
氏名 雲南市長 石 飛 厚 志

令和5年6月30日付け指令原第305号をもって交付の決定の通知を受けた電源立地地域対策交付金にかかる交付金事業の成果の評価について島根県電源立地地域対策交付金
交付要綱第11条第3項の規定により別紙のとおり報告します。

別紙

I. 事業評価総括表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	地域活性化措置	自治会施設等整備補助金（門自治会集会所改修工事）事業	雲南市	2,000,000	2,000,000	総事業費 2,000,000

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和5年度）

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	地域活性化措置	自治会施設等整備補助金（門自治会集会所改修工事）事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市	
交付金事業実施場所		雲南市木次町平田	
交付金事業の概要		<p>門自治会は、雲南市の中山間部に位置する地域であり、会員数27名（13世帯）・高齢化率59.26%（令和5年3月31日現在）となっており、高齢化が進んでいる状況です。</p> <p>当自治会集会所は、（発電所の社宅の）中古材を利用し昭和58年に自治会活動の拠点として、また自治会内唯一の交流場所として整備され、初期の災害時には自治会内での一時避難場所としても利用されています。</p> <p>平成24年には築30年が経過、老朽化が進み修繕を必要とする箇所が顕在化したため、当補助金を活用し屋根や台所の補修、部屋の拡幅などの施設改修が行われ、築37年が経過した令和2年には、建設当時からそのまま利用されていた畳や電気設備（室内照明）、ゴミ集積倉庫の修繕を行い、自治会内での一時避難の場所として、また、自治会唯一の交流場所としてより安心・安全な集会所となりました。</p> <p>しかし、令和5年で築40年が経過する現在、集会所の犬走りにひび割れが生じており、今後、亀裂が拡大する危険があるため、早急に修繕が必要となりました。また、老朽化により修繕箇所が顕在化した広縁部分（床、引違い窓、外壁・内壁等）及び北側の引違い窓の修繕も必要となりました。広縁部分の修繕と広縁にある引違い窓にカーテンを新設することで、自治会内の一時避難場所でもある当集会所において、避難時であってもプライベート空間を確保できるようになります。また、当自治会では高齢化が進んでおり、障子の張替の負担軽減のため、集会所内の一部の障子をカーテンへ変更します。さらに、感染症対策として換気をしながら、集会所での会合を行ったり、避難時には快適に過ごすために、台所に網戸を新設し、また、老朽化したエアコン（2001年製）の更新をします。</p> <p>以上のことから、自治会集会所の改修を行うことにより、自治会活動の拠点及び災害時初期の一時避難場所としての機能維持を確保することができ、より安心・安全な自治会の中心拠点としての更なる利用が見込めます。</p> <p>具体的な事業内容は、以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集会所の修繕 木工事、建具工事、内装工事、板金工事、左官工事、空調設備工事 	
交付金事業に関する市町村の主要政策・施策とその目標		<p>【第2次雲南市総合計画（後期基本計画 2015-2024）】</p> <p>政策I みんなで築くまち《協働・行政経営》</p> <p>施策01 市民が主役のまちづくりの推進</p> <p>まちづくり活動への参加推進・まちづくり活動の拠点整備</p> <p>施策目標：過去1年間に地域活動に参加した市民の割合</p> <p>現状：62.9%（令和3年度実績：木次地域）</p> <p>目標：75.0%（令和5年度）</p>	
事業開始年度		令和 5年度	事業終了（予定）年度
事業期間の設定理由			

	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和 6年度	
	交付金事業の成果目標及び成果実績	過去1年間に地域活動に参加した市民の割合 75.0%	市民アンケートにおいて「過去1年間に地域活動に参加した市民」項目にあると答えた数 ／市民アンケート回答者数	成果実績	%		
				目標値	%	75.0	
				達成度	%		
評価年度の設定理由							
毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。							
交付金事業の定性的な成果及び評価等							
-							
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無							
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和5年度		
	・集会所改修		活動実績	件	1		
			活動見込	件	1		
			達成度	%	100		

交付金事業の総事業費等	令和5年度			備考
総事業費	2,000,000			
交付金充当額	2,000,000			
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	2,000,000			
交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
	補助金交付	補助	門自治会（雲南市）	2,000,000
	計			
交付金事業の担当課室	木次総合センター自治振興課			
交付金事業の評価課室	木次総合センター自治振興課			

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
- (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
- (3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。
- (4) 交付金事業に関する市町村の主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている市町村の上位政策・施策とそのを記載すること。
- (5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。
- (6) 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に関する市町村の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。
当該事業の定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄に、定性的な目標を、交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に、定性成果及び評価を記載すること。
- (7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。
なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮すること。
- (8) 成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、評価年度が到来していない場合は、成果実績欄は空欄とし、評価年度に別途、報告を行うこと。
なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価についても、併せて報告を行うこと。
- (9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか、成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。
- (10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成等を記載すること。
- (11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。
- (12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。
- (13) 交付金事業の担当課室の欄は、事業を実施した課室、交付金事業の評価課室の欄は、事業評価を実施した課室の名称を記載する事業実施課室と評価実施課室が同一でも差し支えない。

様式第8（第11条関係）

令和5年度島根県電源立地地域対策交付金事業評価報告書

地 域 第 2 4 7 号

令 和 6 年 3 月 1 1 日

島根県知事 丸山 達也 殿

住所 雲南市木次町里方521番地1
氏名 雲南市長 石飛 厚志

令和5年11月30日付け指令原第678号をもって交付の決定の通知を受けた電源立地地域対策交付金にかかる交付金事業の成果の評価について島根県電源立地地域対策交付金交付要綱第11条第3項の規定により別紙のとおり報告します。

別紙

I. 事業評価総括表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	自治会施設等整備補助金（松笠交流センター防災備品整備）事業	雲南市	1,295,800	1,295,800	

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ. 事業評価個表（令和5年度）

番号	措置名	交付金事業の名称				
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	自治会施設等整備補助金（松笠交流センター防災備品整備）事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市				
交付金事業実施場所		雲南市掛合町松笠				
交付金事業の概要		<p>松笠交流センターは、雲南市掛合町松笠地区に所在する地域自主組織の拠点施設であり災害時の指定避難所となっています。ここに地域自主組織所有の防災備品を整備することで、避難所設備の充実及び自主防災活動の強化を図り、地区内で発生した災害に地域と行政が協働で対応する事のできる体制を構築するとともに、災害に対する町内住民の自助・共助の意識の醸成を図ります。</p> <p>令和3年7月の大雨災害の折、松笠交流センターの隣を流れる松笠川が増水し、施設敷地内への浸水が危惧されました。当時避難者の別の場所への再避難も検討されましたが、近隣道路の崩壊も多々発生していることや、他地区への移動手段も無かった為、断念されました。</p> <p>松笠交流センターは松笠地区内唯一の指定避難所であることから、ここの安全性の確保は必須です。隣接する川からの浸水対策として、止水板等を松笠交流センターに配備し必要な時に設置できるようにし、また、急な大雨の際にはスタッフの人数が限られているため、少人数での設置も可能な物とします。あわせて、設置を速やかに行えるようにすることと、機材の良好な維持のため、敷地内に収納庫を整備します。</p> <p>このような地域自主組織の主体的な避難所運営、自主防災活動に対して、雲南市水力発電施設周辺整備事業補助金交付要綱の定めるところにより補助金を交付します。</p> <p>松笠交流センターに整備する備品の具体的な内容は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 止水板 15枚 ・ 止水板コーナー 1枚 ・ 水囊 30袋 ・ 収納用物置 1棟 <p style="text-align: right;">合計47点</p>				
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策と目標		<p>【第2次雲南市総合計画（後期基本計画 2015-2024）】</p> <p>政策Ⅱ 安全・安心で快適なまち《定住環境》</p> <p>施策16 消防・防災対策の推進</p> <p>防災意識の向上と実践、防災施設の整備</p> <p>各交流センターに防災備品を整備することで、避難所機能の充実を図るとともに、この防災備品を地域自主組織が管理し、避難訓練等の活動に取り組むことで、自主防災活動を強化し、地域住民の防災意識の醸成を図ります。</p> <p>施策目標：災害に対する家庭での備えをしている市民の割合</p> <p style="margin-left: 20px;">現状 33.6%（令和3年度実績）</p> <p style="margin-left: 20px;">目標 38.0%（令和5年度）</p>				
事業開始年度		令和5年度	事業終了（予定）年度	令和5年度		
事業期間の設定理由						
		成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和6年度
		災害に対する家庭での備えをしている市民の割合	市民アンケートにおいて「災害に対する家庭での備え」についての項目に、「している」と答えた数／市民アンケート回答者数	成果実績	%	
				目標値	%	38.0
				達成度	%	

交付金事業の成果目標 及び成果実績	評価年度の設定理由					
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	-					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	令和5年度	令和 年度	年度
	松笠交流センターへの 防災備品整備数	活動実績	点	47		
		活動見込	点	47		
		達成度	%	100		
交付金事業の総事業費等	令和5年度	年度	年度	備考		
総事業費	1,295,800					
交付金充当額	1,295,800					
うち文部科学省分	0					
うち経済産業省分	1,295,800					
交付金事業の契約の概要						
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額		
	補助金交付	補助	松笠振興協議会（雲南市）	1,295,800		
	計				1,295,800	
交付金事業の担当課室	掛合総合センター市民サポート課					
交付金事業の評価課室	掛合総合センター市民サポート課					

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
- (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
- (3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。
- (4) 交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている当該都道府県又は市町村の上位政策・施策とその目標を記載すること。
- (5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。
- (6) 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。当該事業の定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄に、定性的な目標を、交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に、定性的な成果及び評価を記載すること。
- (7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。
なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮すること。
- (8) 成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、評価年度が到来していない場合は、成果実績の欄は空欄とし、評価年度に別途、報告を行うこと。
なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価についても、併せて報告を行うこと。
- (9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか、成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。
- (10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。
- (11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。
- (12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。
- (13) 交付金事業の担当課室の欄は、事業を実施した課室、交付金事業の評価課室の欄は、事業評価を実施した課室の名称を記載すること。事業実施課室と評価実施課室が同一でも差支えない。

様式第8（第11条関係）

令和5年度島根県電源立地地域対策交付金事業評価報告書

地 域 第 1 9 5 号

令 和 5 年 1 2 月 2 1 日

島根県知事 丸山 達也 殿

住所 雲南市木次町里方521-1

氏名 雲南市長 石 飛 厚 志

令和5年6月30日付け第307号をもって交付の決定の通知を受けた電源立地地域対策交付金にかかる交付金事業の成果の評価について島根県電源立地地域対策交付金交付要綱第11条第3項の規定により別紙のとおり報告します。

別紙

I. 事業評価総括表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	自治会施設等整備補助金（吉田交流センター防災備品整備）事業	雲南市	880,000	880,000	総事業費 880,000

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和5年度）

番号	措置名	交付金事業の名称				
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	自治会施設等整備補助金（吉田交流センター防災備品整備）事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市				
交付金事業実施場所		雲南市吉田町吉田				
交付金事業の概要		<p>吉田交流センターの防災備品は、平成29年度から本交付金を活用し整備することとしております。</p> <p>地域自主組織の拠点施設であり災害時の指定避難所でもある、吉田交流センターに地域自主組織所有の防災備品を整備することで、避難所設備の充実及び自主防災活動の強化を図り、地区内で発生した災害に地域と行政が協働で対応する事のできる体制を構築するとともに、災害に対する町内住民の自助・共助の意識の醸成を図ります。</p> <p>今年度も地震等大規模な災害の発生により避難した地域住民が数日間避難所で生活を送る事態を想定し、交流センター以外の地区内の避難所（体育館等）も含めた避難所運営に必要な備品の整備を進めます。また、令和3年7月の豪雨災害時に各地区で避難所を開設した経験から、季節に関わらず迅速な避難者受入れ及び効率的な避難所運営のため、必要な避難所用備品を追加整備します。</p> <p>このような各地域自主組織でのより主体的な避難所運営、自主防災活動に対して、雲南市水力発電施設周辺整備事業補助金交付要綱の定めるところにより補助金を交付します。</p> <p>具体的には、今年度、防災備品専用の保管倉庫1基を設置します。現在、防災備品については、吉田交流センター内の倉庫及び敷地内に設置した大型倉庫へ保管しているが、今後、さらに防災備品の整備、拡充を行うにあたり保管場所が不足するため設置します。</p> <p>なお、今回整備する大型倉庫には、車椅子、大型扇風機、石油ファンヒーター、防災用テント、折り畳み式簡易トイレを保管する予定です。</p> <p>吉田交流センターに整備する備品の具体的な内容は以下のとおりです。</p>				
交付金事業に関する市町村の主要政策・施策と目標		<p>令和5年度目標【第2次雲南市総合計画（後期基本計画2015－2024）】</p> <p>政策Ⅱ 安全・安心で快適なまち</p> <p>施策16 消防・防災対策の推進</p> <p>防災意識の向上と実践、防災施設の整備</p> <p>各交流センターに防災備品を整備することで、避難所機能の充実を図るとともに、この防災備品を地域自主組織が管理し、避難訓練等の活動に取り組むことで、自主防災活動を強化し、地域住民の防災意識の醸成を図る。</p> <p>施策目標：災害に対する家庭内での備えをしている市民の割合</p> <p>現状 29.5%（令和3年度実績：吉田地域）</p> <p>目標 38.0%（令和5年度）</p>				
事業開始年度		令和5年度	事業終了（予定）年度		令和5年度	
事業期間の設定理由						
		成果目標	成果指標	単位	評価年度	
		災害に対する家庭内での備えをしている市民の割合	市民アンケートにおいて「災害に対する家庭内での備え」についての項目に、していると答えた数／	成果実績	%	令和6年度
				目標値	%	

交付金事業の成果目標
及び成果実績

38.0%	市民アンケート回答者数	達成度	%	
評価年度の設定理由				
毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。				

	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	—					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	吉田交流センターへの防災備品整備数	活動実績	点	43	19	1
		活動見込	点	43	19	1
		達成度	%	100	100	100
交付金事業の総事業費等	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考		
総事業費	584,540	359,433	880,000			
交付金充当額	584,540	359,433	880,000			
うち文部科学省分	0	0	0			
うち経済産業省分	584,540	359,433	880,000			
交付金事業の契約の概要						
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額		
	補助金交付	補助	吉田地区振興協議会（雲南市）	880,000		
	計					
交付金事業の担当課室	吉田総合センター市民サポート課					
交付金事業の評価課室	吉田総合センター市民サポート課					

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
(3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。
(4) 交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている当該都道府県又は市町村の上位政策・施策とその目標を記載すること。
(5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。
(6) 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要

政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。当該事業の定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄に、定性的な目標を、交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に、定性的な成果及び評価を記載すること。

(7) 評価年度及び評価年度の設定期限の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。

なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮すること。

(8) 成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、評価年度が到来していない場合は、成果実績の欄は空欄とし、評価年度に別途、報告を行うこと。

なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価についても、併せて報告を行うこと。

(9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか、成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。

(10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。

(11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。

(12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

(13) 交付金事業の担当課室の欄は、事業を実施した課室、交付金事業の評価課室の欄は、事業評価を実施した課室の名称を記載すること。事業実施課室と評価実施課室が同一でも差支えない。

様式第8（第11条関係）

令和5年度島根県電源立地地域対策交付金事業評価報告書

地 域 第 2 4 6 号

令 和 6 年 3 月 1 1 日

島根県知事 丸山 達也 殿

住所 雲南市木次町里方521-1
氏名 雲南市長 石 飛 厚 志

令和5年11月30日付け指令原第677号をもって交付の決定の通知を受けた電源立地地域対策交付金にかかる交付金事業の成果の評価について島根県電源立地地域対策交付金交付要綱第11条第3項の規定により別紙のとおり報告します。

別紙

I. 事業評価総括表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	自治会施設等整備補助金（田井交流センター防災備品整備）事業	雲南市	601,183	601,183	

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ. 事業評価個表（令和5年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	自治会施設等整備補助金（田井交流センター防災備品整備）事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市		
交付金事業実施場所		雲南市吉田町深野		
交付金事業の概要	<p>田井交流センターの防災備品は、平成29年度から本交付金を活用し整備することとしております。地域自主組織の拠点施設である、田井交流センターに地域自主組織所有の防災備品を整備することで、避難所設備の充実及び自主防災活動の強化を図り、地区内で発生した災害に地域と行政が協働で対応することのできる体制を構築するとともに、災害に対する町内住民の自助・共助の意識の醸成を図ります。</p> <p>今年度も地震等大規模な災害の発生により避難した地域住民が数日間避難所で生活を送る事態を想定し、交流センター以外の地区内の避難所（体育館等）も含めた避難所運営に必要な備品の整備を進めます。また、令和3年7月の豪雨災害時に各地区で避難所を開設した経験から、季節に関わらず迅速な避難者受入れ及び効率的な避難所運営のため、必要な避難所用備品を追加整備します。このような各地域自主組織でのより主体的な避難所運営、自主防災活動に対して、雲南市水力発電施設周辺整備事業補助金交付要綱の定めるところにより補助金を交付します。</p> <p>田井交流センターに整備する備品の具体的な内容は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災マップ 20枚 ・サインスタンド 1枚 ・ポスターパネル 1台 ・ホワイトボード 1台 ・ホワイトボードシート 1巻 ・簡易ベッド 5台 ・発電機 1台 ・テント 1張 <p style="text-align: right;">合計31点</p>			
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策と目標	<p>令和5年度目標【第2次雲南市総合計画（後期基本計画2015－2024）】</p> <p>政策Ⅱ 安全・安心で快適なまち</p> <p>施策16 消防・防災対策の推進</p> <p style="padding-left: 20px;">防災意識の向上と実践、防災施設の整備</p> <p>各交流センターに防災備品を整備することで、避難所機能の充実を図るとともに、この防災備品を地域自主組織が管理し、避難訓練等の活動に取り組むことで、自主防災活動を強化し、地域住民の防災意識の醸成を図る。</p> <p>施策目標：災害に対する家庭内での備えをしている市民の割合</p> <p>現状 29.5%（令和3年度実績：吉田地域）</p> <p>目標 38.0%（令和5年度）</p>			
事業開始年度	令和5年度	事業終了（予定）年度	令和5年度	
事業期間の設定理由				
	成果目標	成果指標	単位	評価年度
				令和6年度

交付金事業の成果目標
及び成果実績

災害に対する家庭 内での備えをして いる市民の割合 38.0%	市民アンケートにお いて「災害に対する 家庭内での備え」に ついての項目に、し ていと答えた数/ 市民アンケート回答 者数	成果実績	%	
		目標値	%	38
		達成度	%	
評価年度の設定理由				
毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。				
交付金事業の定性的な成果及び評価等				
—				
評価に係る第三者機関等の活用の有無				
無				

交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	吉田町地域自主組織への防災備品整備 数		活動実績	点	19	1	31
			活動見込	点	19	1	31
			達成度	%	100	100	100
交付金事業の総事業費等		令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考		
総事業費		590,260	880,000	601,183			
交付金充当額		590,260	880,000	601,183			
うち文部科学省分		0	0	0			
うち経済産業省分		590,260	880,000	601,183			
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
補助金交付		補助		田井地区振興協議会（雲南市）		601,183	
		計				601,183	
交付金事業の担当課室		吉田総合センター市民サポート課					
交付金事業の評価課室		吉田総合センター市民サポート課					

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
(3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。
(4) 交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている当該都道府県又は市町村の上位政策・施策とその目標を記載すること。
(5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。
(6) 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。当該事業の定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄に、定性的な目標を、交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に、定性的な成果及び評価を記載すること。
(7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。
なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮すること。

- (8) 成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、評価年度が到来していない場合は、成果実績の欄は空欄とし、評価年度に別途、報告を行うこと。
なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価についても、併せて報告を行うこと。
- (9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか、成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。
- (10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。
- (11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。
- (12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。
- (13) 交付金事業の担当課室の欄は、事業を実施した課室、交付金事業の評価課室の欄は、事業評価を実施した課室の名称を記載すること。事業実施課室と評価実施課室が同一でも差支えない。

様式第8（第11条関係）

令和5年度島根県電源立地地域対策交付金事業評価報告書

地 域 第 1 9 6 号

令 和 5 年 1 2 月 2 1 日

島根県知事 丸山 達也 殿

住所 雲南市木次町里方521-1
氏名 雲南市長 石 飛 厚 志

令和5年6月30日付け指令原第308号をもって交付の決定の通知を受けた電源立地地域対策交付金にかかる交付金事業の成果の評価について島根県電源立地地域対策交付金交付要綱第11条第3項の規定により別紙のとおり報告します。

別紙

I. 事業評価総括表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	自治会施設等整備補助金（民谷交流センター防災備品整備）事業	雲南市	468,610	468,610	総事業費 473,110

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和5年度）

番号	措置名	交付金事業の名称			
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	自治会施設等整備補助金（民谷交流センター防災備品整備）事業			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市			
交付金事業実施場所		雲南市吉田町民谷			
交付金事業の概要		<p>民谷交流センターの防災備品は、平成29年度から本交付金を活用し整備することとしております。</p> <p>地域自主組織の拠点施設である、民谷交流センターに地域自主組織所有の防災備品を整備することで、避難所設備の充実及び自主防災活動の強化を図り、地区内で発生した災害に地域と行政が協働で対応する事のできる体制を構築するとともに、災害に対する町内住民の自助・共助の意識の醸成を図ります。</p> <p>今年度も地震等大規模な災害の発生により避難した地域住民が数日間避難所で生活を送る事態を想定し、交流センター以外の地区内の避難所（体育館等）も含めた避難所運営に必要な備品の整備を進めます。また、令和3年7月の豪雨災害時に各地区で避難所を開設した経験から、季節に関わらず迅速な避難者受入れ及び効率的な避難所運営のため、必要な避難所用備品を追加整備します。</p> <p>このような各地域自主組織でのより主体的な避難所運営、自主防災活動に対して、雲南市水力発電施設周辺整備事業補助金交付要綱の定めるところにより補助金を交付します。</p> <p>今年度についても長期に渡り避難所生活を送る事態を想定し、避難者の健康を守るための対策を重視し、救助資材、車椅子等、次の備品を整備します。</p> <p>民谷交流センターに整備する備品の具体的な内容は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担架 1台 ・車椅子 1台 ・車椅子用スロープ 1台 ・AED収納ボックス 1台 ・浄水器 1台 ・浄水器交換フィルター 1個 <p style="text-align: right;">合計 6点</p>			
交付金事業に関する市町村の主要政策・施策と目標		<p>令和5年度目標【第2次雲南市総合計画（後期基本計画2015－2024）】</p> <p>政策Ⅱ 安全・安心で快適なまち</p> <p>施策16 消防・防災対策の推進</p> <p style="padding-left: 20px;">防災意識の向上と実践、防災施設の整備</p> <p>各交流センターに防災備品を整備することで、避難所機能の充実を図るとともに、この防災備品を地域自主組織が管理し、避難訓練等の活動に取り組むことで、自主防災活動を強化し、地域住民の防災意識の醸成を図る。</p> <p>施策目標：災害に対する家庭内での備えをしている市民の割合</p> <p>現状 29.5%（令和3年度実績：吉田地域）</p> <p>目標 38.0%（令和5年度）</p>			
事業開始年度		令和5年度	事業終了（予定）年度		令和5年度
事業期間の設定理由					
		成果目標	成果指標	単位	評価年度
					令和6年度

交付金事業の成果目標
及び成果実績

災害に対する家庭 内での備えをして いる市民の割合 38.0%	市民アンケートにお いて「災害に対する 家庭内での備え」に ついての項目に、し ていと答えた数/ 市民アンケート回答 者数	成果実績	%	
		目標値	%	38
		達成度	%	
評価年度の設定理由				
毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。				
交付金事業の定性的な成果及び評価等				
—				
評価に係る第三者機関等の活用の有無				
無				

交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			活動実績	点	1	4	6
	民谷交流センターへの防災備品整備数		活動見込	点	1	4	6
			達成度	%	100	100	100
交付金事業の総事業費等		令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考		
総事業費		772,200	509,080	468,610			
交付金充当額		772,200	509,080	468,610			
うち文部科学省分		0	0	0			
うち経済産業省分		772,200	509,080	468,610			
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
補助金交付		補助		民谷地区振興協議会（雲南市）		468,610	
計							
交付金事業の担当課室		吉田総合センター市民サポート課					
交付金事業の評価課室		吉田総合センター市民サポート課					

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
(3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。
(4) 交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている当該都道府県又は市町村の上位政策・施策とその目標を記載すること。
(5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。
(6) 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。当該事業の定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄に、定性的な目標を、交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に、定性的な成果及び評価を記載すること。
(7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。
なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮すること。

- (8) 成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、評価年度が到来していない場合は、成果実績の欄は空欄とし、評価年度に別途、報告を行うこと。
なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価についても、併せて報告を行うこと。
- (9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか、成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。
- (10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。
- (11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。
- (12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。
- (13) 交付金事業の担当課室の欄は、事業を実施した課室、交付金事業の評価課室の欄は、事業評価を実施した課室の名称を記載すること。事業実施課室と評価実施課室が同一でも差支えない。

様式第8（第11条関係）

令和5年度島根県電源立地地域対策交付金事業評価報告書

地域第194号

令和5年12月10日

島根県知事 丸山達也 殿

住所 雲南市木次町里方521-1
氏名 雲南市長 石飛厚志

令和5年6月30日付け指令原第306号をもって交付の決定の通知を受けた電源立地地域対策交付金にかかる交付金事業の成果の評価について島根県電源立地地域対策交付金交付要綱第11条第3項の規定により別紙のとおり報告します。

別紙

I. 事業評価総括表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要する経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	自治会施設等整備補助金（飯石交流センター備品整備）事業	雲南市	2,684,000	2,684,000	総事業費 2,684,000円

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和5年度）

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	自治会施設等整備補助金（飯石交流センター備品整備）事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市	
交付金事業実施場所		雲南市三刀屋町多久和	
交付金事業の概要		<p>雲南市内には、地域自主組織が概ね小学校区単位で30組織が設立されています。 この地域自主組織とは、まちづくり活動の拠点として地域の課題解決に向けた活動団体であり、各地域で持続可能なまちづくり活動の推進が積極的に行われている組織です。 当該三刀屋町飯石地区の活動拠点施設である飯石交流センターにおいては、地域自主組織「雲見の里いし」の代議員総会や、新年賀会、敬老会など最大60人程度の会が開催されておりますが、既存の会議関連備品のうち会議用テーブルは重量が重く、女性や高齢者の使用の際は不便が生じている状況です。 利便性の向上のための備品を整備することで、地域活動の充実や交流促進事業の強化を図り、地域の諸課題解決に向けた取り組みを強化できます。 また、当該交流センターは防災指定避難所に指定されており、地域自主組織では避難所設備の充実及び自主防災活動の強化を図る目的から、様々な防災備品を整備してきているが、その多くはセンター内外の屋外倉庫や集会室に保管しており、今後備品の保管・収納場所が不足することが懸念されます。 新たに防災備品専用の防災備品倉庫を設置することで、さらに防災備品の整備・拡充を行うことができます。 このような地域自主組織での主体的な備品の整備に対して、雲南市水力発電施設周辺整備事業補助金交付要綱の定めるところにより、補助金を交付します。</p> <p>飯石交流センターに整備する備品の具体的な内容は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幕板棚付き会議テーブル 30台 ・防災備品倉庫 1棟 	
交付金事業に関する市町村の主要政策・施策とその目標		<p>【第2次雲南市総合計画（後期基本計画 2015-2024）】</p> <p>政策I みんなで築くまち 施策01 市民が主役のまちづくりの推進 まちづくり活動への参加推進・まちづくり活動の拠点整備</p> <p>施策目標：過去1年間に地域活動に参加した市民の割合 現状 55.6%（令和3年度実績：三刀屋地域） 目標 75.0%（令和5年度）</p>	
事業開始年度		令和5年度	事業終了（予定）年度 令和5年度
事業期間の設定理由			

交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和6年度	
	過去1年間に地域活動に参加した市民の割合 75.0%	市民アンケートにおいて「過去1年間に地域活動に参加した」についての項目に、したと答えた数／市民アンケート回答者数	成果実績	%			
			目標値	%		75.0	
			達成度	%			
	評価年度の設定理由						
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	-						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無							
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和5年度		
	飯石交流センターへの備品整備数	活動実績	台	30・1			
		活動見込	台・棟	30・1			
		達成度	%	100			
交付金事業の総事業費等	令和5年度				備考		
総事業費	2,684,000						
交付金充当額	2,684,000						
うち文部科学省分	0						
うち経済産業省分	2,684,000						
交付金事業の契約の概要							
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額			
	補助金交付	補助	雲見の里いいし（雲南市）	2,684,000			
	計			2,684,000			
交付金事業の担当課室	三刀屋総合センター自治振興課						
交付金事業の評価課室	三刀屋総合センター自治振興課						

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。
 - (4) 交付金事業に関係する市町村の主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている市町村の上位政策・を記載すること。
 - (5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。
 - (6) 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に関係する市町村の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載する。当該事業の定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄に、定性的な目標を、交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に、成果及び評価を記載すること。
 - (7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。
なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該 機関等による評価実施時期も考慮する
 - (8) 成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、評価年度が到来していない場合欄は空欄とし、評価年度に別途、報告を行うこと。
なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価について報告を行うこと。
 - (9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の託成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には要因次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。
 - (10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名等を記載すること。
 - (11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。
 - (12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。
 - (13) 交付金事業の担当課室の欄は、事業を実施した課室、交付金事業の評価課室の欄は、事業評価を実施した課室の名称、事業実施課室と評価実施課室が同一でも差し支えない。

様式第8（第11条関係）

令和5年度島根県電源立地地域対策交付金事業評価報告書

地 域 第 2 4 5 号

令 和 6 年 3 月 1 1 日

島根県知事 丸 山 達 也 殿

住所 雲南市木次町里方521-1
氏名 雲南市長 石 飛 厚 志

令和5年11月30日付け指令原第676号をもって交付の決定の通知を受けた電源立地地域対策交付金にかかる交付金事業の成果の評価について島根県電源立地地域対策交付金交付要綱第11条第3項の規定により別紙のとおり報告します。

別紙

I. 事業評価総括表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	バス停留所標識柱設置事業	雲南市	286,000	286,000	総事業費 286,000

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ. 事業評価個表（令和5年度）

番号	措置名	交付金事業の名称				
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	バス停留所標識柱設置事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市				
交付金事業実施場所		雲南市三刀屋町粟谷 外3か所				
交付金事業の概要		雲南市民バスは、現在30路線、161便／1日運行しており、バス停留所が市内全域に約450箇所に設置されています。このバス停留所に設置している標識柱は、バスの乗降場所、時刻及び行き先等を掲示し利用者に示すものであるため、利用する上で必須です。しかし、経年劣化による老朽化により、朽ち果てている箇所や倒壊等設置箇所の安全確保が問題となります。このことから、老朽化したバス停留所標識柱について4基の更新を実施します。				
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策と目標		<p>第2次雲南市総合計画（平成27年度～令和6年度）（後期基本計画 令和2年度～令和6年度）</p> <p>政策：Ⅱ安全・安心で快適なまち《定住環境》</p> <p>施策：13公共交通ネットワークの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりと連携した持続可能な公共交通体系を構築し、公共交通機関の利用促進を図ります。 ・既存の交通網の整備を図るとともに、多様な交通手段の提供により、利用者の利便性を確保します。 <p>施策目標</p> <p>市内の公共交通サービス機関（バス・JR・だんだんタクシー・デマンド型乗合バス）に満足している市民の割合</p> <p>現状 53.2%（令和3年度）</p> <p>目標 59.0%（令和5年度）</p>				
事業開始年度		令和5年度	事業終了（予定）年度		令和5年度	
事業期間の設定理由						
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和6年度
		市内の公共交通サービス機関（バス・JR・だんだんタクシー・デマンド型乗合バス）に満足している市民の割合59.0%	市民アンケートにおいて「市民の公共交通サービスに満足している」項目に満足、多少満足と答えた数／市民アンケート回答者数	成果実績	%	
				目標値	%	59.0
				達成度	%	
		評価年度の設定理由				
		本市は毎年度の市民アンケート結果を事務事業評価に反映して事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。				
		交付金事業の定性的な成果及び評価等				
-						
評価に係る第三者機関等の活用の有無						

無

交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	市民バス標識柱の更新数		活動実績	基	21	23	4
			活動見込	基	21	23	4
			達成度	%	100	100	100
交付金事業の総事業費等	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考			
総事業費	814,000	1,062,600	286,000				
交付金充当額	814,000	1,062,600	286,000				
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	814,000	1,062,600	286,000				
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法	契約の相手方		契約金額		
バス停留所の標識の製作及び設置		一般競争入札	有限会社サンユウ工芸(雲南市)		286,000		
計					286,000		
交付金事業の担当課室	雲南市政策企画部うんなん暮らし推進課						
交付金事業の評価課室	雲南市政策企画部地域振興課						

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
- (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
- (3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。
- (4) 交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている当該都道府県又は市町村の上位政策・施策とその目標を記載すること。
- (5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。
- (6) 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。当該事業の定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄に、定性的な目標を、交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に、定性的な成果及び評価を記載すること。
- (7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。
なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮すること。
- (8) 成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、評価年度が到来していない場合は、成果実績の欄は空欄とし、評価年度に別途、報告を行うこと。
なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価についても、併せて報告を行うこと。
- (9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか、成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。
- (10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。
- (11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。
- (12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。
- (13) 交付金事業の担当課室の欄は、事業を実施した課室、交付金事業の評価課室の欄は、事業評価を実施した課室の名称を記載すること。事業実施課室と評価実施課室が同一でも差支えない。